



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順

コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,512	19.9	431	—	479	—	305	—
25年3月期第1四半期	12,103	40.5	△80	—	△135	—	△23	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,510百万円 (266.7%) 25年3月期第1四半期 411百万円 (△9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	31.33	—
25年3月期第1四半期	△2.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	45,256	10,662	16.2
25年3月期	40,698	9,171	15.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,311百万円 25年3月期 6,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	16.4	900	97.1	700	226.0	500	126.3	51.20
通期	65,000	25.3	2,500	152.4	2,000	148.7	1,200	120.1	122.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	9,771,000 株	25年3月期	9,771,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	4,855 株	25年3月期	4,855 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	9,766,145 株	25年3月期1Q	9,766,145 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P31「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(4) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全世界的な金融緩和の下支えもあり緩やかな回復基調にあるものの、欧州地域の財政不安問題に起因する景気の下振れ懸念が依然として続いているほか、アジア地域では中国の経済成長が鈍化するなど、景気下振れのリスクには引き続き注意が必要となっております。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では景気回復に伴う消費者マインドの改善を背景として買い替え需要が本格化しておりますが、世界最大の自動車市場をもつ中国では経済成長の減速を受けて販売は減少しております。また、日本国内では昨年度実施されたエコカー補助金制度終了に伴う反動減により本格回復は依然として見えない状況で推移しているほか、衝突安全性能や地球環境問題などの社会的な要求は高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは今中期の取組みであるボトム生産体質の構築をはじめ、適正売上高の確保、生産活動の安全性および効率化の推進など、第5次中期計画の仕上げの年として様々な施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,512百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益は431百万円（前年同四半期は80百万円の営業損失）、経常利益は479百万円（前年同四半期は135百万円の経常損失）、四半期純利益は305百万円（前年同四半期は23百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、自動車用車体プレス部品ではエコカー補助金制度終了による反動減により大きく減産する状況となりました。また、金型では新機種設備の受注減少により、売上高、利益ともに前年を下回る水準で推移いたしました。

売上高は3,698百万円（前年同四半期比24.5%減）、経常利益は155百万円（前年同四半期比67.0%減）となりました。

(タイ)

タイにおいては、タイ洪水からの復興需要や自動車産業の成長による輸出の増加、国内消費の拡大に支えられ、生産は好調に推移しました。

売上高は3,169百万円（前年同四半期比324.5%増）、経常利益は322百万円（前年同四半期は527百万円の経常損失）となりました。

(広州)

広州においては、中国経済成長の勢いが鈍化し始めたことにより、自動車販売の拡大が一服したことや、政治的要因による日中関係悪化に伴う影響が残っていることから、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る水準で推移いたしました。

売上高は2,155百万円（前年同四半期比2.8%減）、経常利益は17百万円（前年同四半期比74.8%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、中国経済の成長鈍化の影響を受けて景気の拡大テンポが緩やかになったものの、主要顧客の自動車生産が拡大したことにより、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

売上高は1,115百万円（前年同四半期比6.3%増）、経常利益は85百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、自動車市場の需要回復による主要取引先の増産に対応する生産体制の整備をはじめ、生産及び要員効率の向上や、当社グループの生産体質の浸透など、様々な取組みを行い、売上高、利益ともに前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

売上高は4,565百万円(前年同四半期比47.7%増)、経常利益は124百万円(前年同四半期は33百万円の経常損失)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、平成24年9月のエコカー補助金制度の終了に伴い新車及び中古車の受注が減少し、売上高、利益ともに前年を下回る状況で推移いたしました。

売上高は560百万円(前年同四半期比23.9%減)、経常損失は11百万円(前年同四半期は15百万円の経常利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、45,256百万円となり、前連結会計年度末と比較し、4,557百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が391百万円増加、受取手形及び売掛金が970百万円増加、仕掛品が477百万円増加、有形固定資産が3,824百万円増加したことが要因であります。

負債総額は34,593百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,066百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,179百万円増加、短期借入金が234百万円増加、長期借入金が54百万円増加、リース債務が4百万円減少したことが要因であります。

純資産は10,662百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,490百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が286百万円増加、為替換算調整勘定が819百万円増加したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主要取引先である自動車業界の海外生産が期初の想定よりも増加傾向にあり、今後も安定的に推移することが見込まれることに伴い予想を見直した結果、第2四半期累計期間及び通期の業績が当初の予想を上回る見通しとなりましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、平成25年7月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,026	2,418
受取手形及び売掛金	6,698	7,669
商品及び製品	419	495
仕掛品	1,561	2,038
原材料及び貯蔵品	1,540	1,411
その他	2,615	1,470
貸倒引当金	△14	△8
流動資産合計	14,848	15,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,972	6,241
機械装置及び運搬具(純額)	6,152	6,448
工具、器具及び備品(純額)	4,511	4,506
土地	2,102	2,162
リース資産(純額)	1,312	1,318
建設仮勘定	3,256	6,453
有形固定資産合計	23,306	27,131
無形固定資産	223	228
投資その他の資産		
その他	2,337	2,417
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,320	2,400
固定資産合計	25,850	29,760
資産合計	40,698	45,256

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,450	7,630
短期借入金	10,166	10,400
リース債務	303	318
未払法人税等	63	127
賞与引当金	229	171
その他	2,561	4,096
流動負債合計	19,774	22,744
固定負債		
長期借入金	9,207	9,262
リース債務	638	619
退職給付引当金	953	993
資産除去債務	84	84
負ののれん	8	7
その他	860	882
固定負債合計	11,752	11,849
負債合計	31,527	34,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	3,747	4,034
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,718	6,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	706	746
為替換算調整勘定	△259	560
その他の包括利益累計額合計	447	1,306
少数株主持分	3,005	3,350
純資産合計	9,171	10,662
負債純資産合計	40,698	45,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	12,103	14,512
売上原価	10,806	12,907
売上総利益	1,296	1,605
販売費及び一般管理費	1,377	1,174
営業利益又は営業損失(△)	△80	431
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	6	8
為替差益	33	155
その他	16	13
営業外収益合計	59	178
営業外費用		
支払利息	108	119
その他	6	10
営業外費用合計	115	130
経常利益又は経常損失(△)	△135	479
特別利益		
固定資産売却益	—	1
受取保険金	373	—
その他	—	49
特別利益合計	373	50
特別損失		
固定資産売却損	1	5
段階取得に係る差損	128	—
その他	22	—
特別損失合計	152	5
税金等調整前四半期純利益	84	524
法人税等	111	142
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26	381
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	75
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23	305

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△26	381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	39
為替換算調整勘定	476	1,089
その他の包括利益合計	438	1,128
四半期包括利益	411	1,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275	1,164
少数株主に係る四半期包括利益	135	345

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,299	742	2,188	1,049	3,090	733	12,103
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	596	3	28	0	0	2	632
計	4,895	746	2,217	1,049	3,090	736	12,735
セグメント利益又は損失(△)	469	△527	69	62	△33	15	55

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	55
セグメント間取引消去	△61
子会社配当金	△132
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△135

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,100	3,166	2,050	1,071	4,565	558	14,512
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	597	2	104	43	0	2	750
計	3,698	3,169	2,155	1,115	4,565	560	15,263
セグメント利益又は損失(△)	155	322	17	85	124	△11	692

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	692
セグメント間取引消去	△42
子会社配当金	△169
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の経常利益	479

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。